

No. 1472

江戸・東京

くらしのあゆみ展

東京・池袋のデパートで「江戸・東京くらしのあゆみ展」が開られました。

江戸時代の精巧な長屋の模型を始め、明治・大正・昭和の生活用品が展示され興味を呼びました。

太田道灌が江戸を開らいて530年。発展する東京の伝統を訪ねる「タイム・トンネル」の展覧会でした。

フラッシュ

- ① 1月19日、南関東に記録的な大雪。東京では20センチ以上積もり、昭和44年に次ぐ15年ぶり、戦後4番目の大雪となりました。
- ② 梅一輪、一輪ほどのあたたかさ。日本一の早咲きで知られる熱海梅園です。
- ③ 「寒さなんか平気さ」と海へくり出す若者たち。湘南海岸はサーファーでいっぱい。
- ④ 学問の神様、菅原道真公をまつる東京の亀戸天神で恒例の「うそ替え神事」が行われました。前年に買った木彫のウソ鳥を天神様に納め、新しいのと買い替えると「前年の凶がウソになり、吉にとり替わる」といい伝えられ160年も続く神事。時節がら大半は受験生の母親の合格祈願だとか。

冬の風物詩

全国的な寒波にみまわれた日本別島。富士五湖の一つ山中湖は3年ぶりに結氷。氷の厚さも15センチを超え本格的なワカサギの穴釣りが始まりました。気温マイナス7度、この日は激しい雪も降り、寒さも一段と厳しく、ほとんどの人が1個3000円の小屋の中で暖をとりながらの釣り。もちろん小屋なんかいないという元気な人もいますヨ。8センチから12・3センチのものが面白いように釣れ、寒さを忘れさせてくれます。寒波到来で久しぶりに賑わう冬の山中湖です。